

大学番号：私222

注3

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

日本大学 国際関係学部 国際教養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 本部学務課・国際関係学部教務課

職名・氏名 本部学務課長 筒井 仁
国際関係学部教務課長 西ヶ谷 洋司

電話番号 本部学務課 03-5275-8015
(夜間) 03-5275-8015
国際関係学部教務課 055-980-0812
(夜間) 055-980-0812

F A X 本部学務課 03-5275-8315
国際関係学部教務課 055-987-6350

e-mail 本部学務課 gakumu@nihon-u.ac.jp
国際関係学部教務課 ir-kyomu@nihon-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 日 本 大 学

(2) 大学名

日 本 大 学

(3) 大学の位置

〒411-8555
静岡県三島市文教町二丁目31番145号

[〒102-8275
東京都千代田区九段南四丁目8番24号]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タナカ ヒデトシ) 田 中 英 壽 (平成20年9月)		
学 長	(サカイ タケオ) 酒 井 健 夫 (平成20年9月)		
学 部 長	(サトウ サプロウ) 佐 藤 三 武 朗 (平成21年2月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際関係学部 国際教養学科 学士(国際関係)	4年	270人	— 年次人	1,080人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	270 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	1.26倍	
志願者数	1,124 (—) [36]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	1,089 (—) [34]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	510 (—) [12]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	339 (—) [8]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.26		—		—		—			

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[8] 339	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
4年次	/				[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[8] 339	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0] 0	(累積)計 [8] 339	0%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 339人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
(主な退学理由)			
平成26年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
	うち平成26年度入学者 人	うち平成26年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<国際関係学部 国際教養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	国際関係論入門	1後	2			5						
	国際文化論入門	1前	2			4						科目担当者増員のため(23)
	スタディ・スキルズ	1前	1			24	4			6		昇格・退職のため(23)
	キャリアデザイン	1後	2			24	4			6		昇格・退職のため(23)
	日本近現代史	1前	2			2						
	世界近現代史	1後	2			2						
	情報処理	1前・後	2									
総合教育科目	哲学	1・2前		2		2						
	倫理学	1・2後		2		1						
	歴史学	1・2前		2		2						
	文化人類学	1・2後		2		2						
	心理学	1・2前		2			1					
	芸術	1・2前		2		1						
	世界の宗教	1・2後		2		1					1	
	世界の言語	1・2前		2								
	文学	1・2後		2		2						
	社会学	1・2後		2								
	法学	1・2前		2								
	日本国憲法	1・2後		2								
	政治学	1・2前		2								
	経済学	1・2後		2								
	商学	1・2前		2								
	経営学	1・2後		2								
ジェンダーと社会	1・2前		2		1							
数理の世界	1・2後		2									
生命の科学	1・2前		2									
情報論	1・2後		2									
調査統計論	1・2後		2		1							
科学思想史	1・2前		2									
スポーツ健康科目	スポーツ科学と健康	1前・後	2									
	スポーツ総合	1前・後	1									
外国語科目	英語Ⅰ	1前		2			+			1		准教授退職のため(23)
	英語Ⅱ	1前		2						1		
	英語Ⅲ	1後		2			+			1		准教授退職のため(23)
	英語Ⅳ	1後		2						1		
	ドイツ語Ⅰ	1前		2						1		
	ドイツ語Ⅱ	1前		2				1				
	ドイツ語Ⅲ	1後		2						1		
	ドイツ語Ⅳ	1後		2				1				
	フランス語Ⅰ	1前		2						1		
	フランス語Ⅱ	1前		2				1				
	フランス語Ⅲ	1後		2						1		
	フランス語Ⅳ	1後		2				1				
	中国語Ⅰ	1前		2		1						
	中国語Ⅱ	1前		2				1				
	中国語Ⅲ	1後		2		1						
	中国語Ⅳ	1後		2				1				
スペイン語Ⅰ	1前		2		1							
スペイン語Ⅱ	1前		2									
スペイン語Ⅲ	1後		2		1							
スペイン語Ⅳ	1後		2									

	韓国語 I	1前		2								
	韓国語 II	1前		2								
	韓国語 III	1後		2								
	韓国語 IV	1後		2								
	日本語 I	1前		2								
	日本語 II	1前		2								
	日本語 III	1後		2								
	日本語 IV	1後		2								
学科共通専門科目	国際文化論	2前	2			2						
	比較文化論	2前		2		1			1			
	異文化コミュニケーション論	2前		2		1						
	社会学概論	2前	2									
国際文化関連科目	日米比較文化論	2前		4		1			1			
	日欧比較文化論	2前		4			2					
	日中比較文化論	2前		4		2						
	現代思想	2前		4		1						
	文化記号論	2前		4								
	宗教文化	2後		4		1						
	イスラム文化	2後		4								
	アメリカ文化	2後		4		2						
	ヨーロッパ文化史	2後		4			2					
	中国文化史	2後		4			1					
	サブカルチャー論	3前・後		4		1						
	芸術表現論	3前・後		4		2						
	比較文学論	3前・後		4		2						
	英米文学史	2後		2		1						
	現代言語学	3前・後		4						1		
	英米言語文化研究	3前・後		4		2						
	ヨーロッパ言語文化研究	3前・後		4		1				1		
	批評理論	3前・後		4								
	漢字文化論	3前・後		4		1						
	日本語文化研究	3前・後		4		2						
コミュニケーション関連科目	フィールドワーク	2前		4		2						
	国際人口移動論	2前		4		1						
	メディアと社会	2前		4								
	都市社会学	2前		4								
	開発教育論	2前		4		1	+					昇格のため(23)
	現代社会学理論	2後		4								
	エスノグラフィー論	2後		4		2						
	文化人類学理論	2後		4		2						
	人権論	2後		4								
	社会福祉論	3前・後		4								
	社会心理学	3前・後		4				1				
	親族と婚姻論	3前・後		4		1						
	カルチュラルスタディーズ	4前		4								
	表象文化論	4前		4		1						
	国際時事問題	3前・後		4		1						
	英語コミュニケーション I	2前		2		3						
	英語コミュニケーション II	2後		2		3						
	英語文献講読	2前		2		1				1		
	英語学	2前		2		1						
	英語音声学	2前・後		2		1						
	英文法	2前		2		1						
	英作文	2後		2		2						
	英語発達史	2後		2		1						
	インターネット英語	2前・後		2						1		
	ビジネス英語	2前・後		2						1		
	英語翻訳・通訳法	3前・後		2		1						
	英語レクチャーシリーズ	3前・後		2						1		
	ドイツ語コミュニケーション	2前・後		2			1					
	ドイツ語文献講読	2前・後		2		1				1		
	フランス語コミュニケーション	2前・後		2						1		
	フランス語文献講読	2前・後		2			1					
	スペイン語コミュニケーション	2前・後		2								
	スペイン語文献講読	2前・後		2			1					

	中国語コミュニケーション	2前・後		2		1					
	中国語文献講読	2前・後		2		1					
	韓国語コミュニケーション	2前・後		2							
	韓国語文献講読	2前・後		2							
	日本語教授法	1後		2					1		
	日本語学	1前		4							
演習	ゼミナールⅠ	3通	2			24	4				昇格・退職のため(23)
	ゼミナールⅡ	4通	2			23	6				昇格・退職のため(23)
	卒業論文	4通		4		24	4				昇格・退職のため(23)
学部共通科目	国際交流（インターンシップ）	2・3後		2							
	国際交流（外国語実習）	1・2・3・4休		2							
	国際交流（事例研究）	2・3前		2							
	ティーチングインターンシップ	2後		2					1		教職課程認定を得られたことによる 国際総合政策学科共通専門科目 から学部共通科目への配置変更(23)
	Japan Studies Ⅰ（宗教・思想）	2後・3前		4		1					
	Japan Studies Ⅱ（日本文学）	2後・3前		4		1					
	Japan Studies Ⅲ（文化史）	2後・3前		4		1					
	Japan Studies Ⅳ（日本社会）	2後・3前		4							
	Japan Studies Ⅴ（経済）	2後・3前		4							
	Japan Studies Ⅵ（政治）	2後・3前		4							
	Japan Studies Ⅶ（スペシャルレクチャー）	3後		2						1	
	Japan Studies Ⅷ（スペシャルレクチャー）	3後		2							
	海外実地研究1	2～4		3							
	海外実地研究2	2～4		3							
	海外実地研究3	2～4		3							
	海外実地研究4	2～4		3							
	海外実地研究5	2～4		3							
	海外実地研究6	2～4		3							
	日本語コミュニケーションⅠ	2後・3前		2							
日本語コミュニケーションⅡ	2後・3前		2								
日本語文献講読Ⅰ	2後・3前		2		1						
日本語文献講読Ⅱ	2後・3前		2		1						
ビジネス日本語	2後・3前		2						1		
地域研究	地域研究（概論）	3前・後		4		1					
	地域研究（歴史）	3前・後		4		1	1				
	地域研究（社会）	3前・後		4							
	地域研究（特別研究Ⅰ）	4前・後		4		1			1		
	地域研究（特別研究Ⅱ）	4前・後		4							
	日本政治	3前・後		4							
	日本経済	3前・後		4							
	日本史	3前・後		4		1					
	日本宗教思想	3前・後		4		1					
	日本文学史	3前・後		4		1					
	日本文化	3前・後		4		1					
日本社会	3前・後		4		1						
観光交流	コミュニティ論	2前・後		4							
	行政学	2前・後		4							
	文化政策論	3前・後		4							
	地域振興論	3前・後		4							
	国際観光経営論	3前・後		4							
	国際観光開発論	3前・後		4							
	国際観光政策	3前・後		4							
	国際観光文化論	3前・後		4		1					
スポーツ交流	スポーツ科学	3前・後		2							
	スポーツと社会	3前・後		2							
	スポーツ指導論	3前・後		2							
	レクリエーション論	3前・後		2							
専門外国語	英語Ⅴ	2前・後		2					1		准教授退職のため(23)
	英語Ⅵ	2前・後		2			+				
	英語Ⅶ	2前・後		2					1		
	英語Ⅷ	2前・後		2			+				
	英語Ⅸ	2前・後		2			+		1		
	英語Ⅹ	3前・後		2		3	+		1		

ドイツ語V	2前・後	2				1	
ドイツ語VI	2前・後	2		1			
ドイツ語VII	2前・後	2				1	
フランス語V	2前・後	2				1	
フランス語VI	2前・後	2		1			
フランス語VII	2前・後	2				1	
中国語V	2前・後	2		1			
中国語VI	2前・後	2	1				
中国語VII	2前・後	2		1			
スペイン語V	2前・後	2	1				
スペイン語VI	2前・後	2					
スペイン語VII	2前・後	2	1				
韓国語V	2前・後	2					
韓国語VI	2前・後	2					
韓国語VII	2前・後	2					
日本語V	2前・後	2				1	
日本語VI	2前・後	2				1	
日本語VII	2前・後	2				1	
特定言語初級	2前・後	2					
特定言語中級	2前・後	2					
特定言語上級	2前・後	2					

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について, 届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても, 届出時の状況を黒字で記載してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても, 「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし, 「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 197	科目 0	科目 209	科目 [0]	科目 [1]	科目 [0]	科目 [1]	学部共通科目に「ティーチング・インターンシップ」増設

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用 日本大学短期大学部 日本大学医学部附属 看護専門学校 (収容定員240人) 日本大学歯学部附属 歯科技工専門学校 (収容定員210人) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定員100人) 日本大学松戸歯学部 附属歯科衛生専門 学校 (収容定員80人) 日本大学櫻丘高等 学校 (収容定員1,806人) 日本大学三島高等 学校 (収容定員2,640人) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(23)					
	校舎敷地	777,838.80㎡ 770,962.94㎡	589,320.33㎡ 578,820.58㎡	5,200.00㎡	1,372,359.13㎡ 1,354,983.52㎡						
	運動場用地	913,111.25㎡	108,293.96㎡ 105,159.36㎡	23,468.85㎡	1,044,874.06㎡ 1,041,739.46㎡						
	小 計	1,690,950.05㎡ 1,684,074.19㎡	697,614.29㎡ 683,979.94㎡	28,668.85㎡	2,417,233.19㎡ 2,396,722.98㎡						
	そ の 他	0.00㎡	224,235.31㎡ 223,650.39㎡	0.00㎡	224,235.31㎡ 223,650.39㎡						
	合 計	1,690,950.05㎡ 1,684,074.19㎡	921,849.60㎡ 907,630.33㎡	28,668.85㎡	2,641,468.50㎡ 2,620,373.37㎡						
(2) 校 舎	専 用	948,904.75㎡ 948,871.26㎡ (948,904.75㎡) (948,871.26㎡)	47,746.82㎡ 45,182.88㎡ (47,746.82㎡) (45,182.88㎡)	19,154.38㎡ 19,110.88㎡ (19,154.38㎡) (19,110.88㎡)	1,015,805.95㎡ 1,013,165.02㎡ (1,015,805.95㎡) (1,013,165.02㎡)	共用 日本大学短期大学部 日本大学歯学部附属 歯科技工専門学校 (収容定 員210人) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定 員100人) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(23)					
	共 用										
	共用する他の 学校等の専用										
	計										
(3) 教 室 等	講 義 室	892 室 47 室	演 習 室	316 室 4 室	実験実習室	1,477 室 1 室	情報処理学習施設	87 室 4 室 (補助職員 2人)	語学学習施設	17 室 6 室 (補助職員 2人) (補助職員 3人)	記載の誤りのため(23)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	国際関係学部 国際総合政策学科, 国際教養学科				90			室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 電子ジャーナル			
	国際関係学部	112,338 [41,957]	443 [219]	2,497 [2,492]	3,974	—	—	31,907 誌			
	国際総合政策学科	(109,235 [41,618])	(443 [218])	(2,516 [2,514])	(5,566)	()	()	22,514 誌			
		(108,879 [41,690])	(443 [219])	(2,497 [2,492])	(3,974)	(—)	(—)	〔 28,042 誌 〕			
								〔 19,436 誌 〕			
国際関係学部	79,819 [29,811]	314 [156]	1,774 [1,770]	2,824	—	—	図書は、図書委員会等で 厳選されたものを購入し ているが、今回購入した 図書の平均単価が予定よ りも安価であったことか ら、より多くの蔵書を買 入ることが出来たため。 また、洋書庫整理等 の関係で、平成21年度・ 平成22年度の2年間で445 冊除籍したことから、外 国書の数が増加した。 (23)				
国際教養学科	77,615 [29,571]	(315 [155])	(1,788 [1,787])	(3,954)	()	()					
	77,362 [29,622])	(314 [156])	(1,774 [1,770])	(2,824)	(—)	(—)					
計	192,157 [71,768]	757 [375]	4,271 [4,262]	6,798	—	—					
	(186,850 [71,189])	(758 [373])	(4,304 [4,301])	(9,520)	()	()					
	(186,241 [71,312])	(757 [375])	(4,271 [4,262])	(6,798)	(—)	(—)					
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			記載の誤り(届出対象学部の 内容のみを記入)のため(23)			
	70,442.49㎡ 1,015.56㎡		8,420席 267席		5,773,978冊 323,189冊						

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						記載の誤り(届出対象学部の内容のみを記入)のため(23)
	61,128.00㎡ 1,695.42㎡		陸上競技場、武道場・武道館 該当なし		プール、テニスコート、ゴルフ練習場、屋上運動場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(研究費等) 予算額変更のため。(23)
		教員 1 人当り研究費等	539千円	539千円	図書購入費	11,490千円	11,710千円	11,710千円	(図書購入費) 前払金で購入する洋書が円高により安く入手することができたため。図書費には電子ジャーナル・データベースの運用コストを含む。(23)
			517千円	517千円		11,700千円	11,700千円	11,700千円	
	共 同 研 究 費 等	780千円	780千円	設備購入費	5,380千円	409,340千円	80,490千円	(設備購入費) 届出後に新校舎建設計画が具体化したことから、決算および予算計画が変更となったため。学部合計額。(23)	
		1,015千円	1,015千円		35,120千円	35,120千円	35,120千円		
学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
	1,220千円	960千円	960千円	960千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		国庫補助金収入、寄付金収入、補助活動収入 他							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 23 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本大学								備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年設年度		所在地
法学部										
法律学科	4	450	—	1,800	学士(法学)	1.27	昭和24年度	東京都千代田区三崎町2-3-1		
政治経済学科	4	350	—	1,500	〃	1.26	昭和24年度			
新聞学科	4	200	—	700	〃	1.20	昭和24年度			
経営法学科	4	200	—	800	〃	1.23	昭和39年度			
公共政策学科	4	200	—	800	〃	1.22	昭和39年度			
計		1,400	—	5,600		1.23				
第二部										
法学部								東京都千代田区三崎町2-3-1		
法律学科	4	300	—	1,200	学士(法学)	1.12	昭和24年度		平成19年4月学生募集停止	
政治経済学科	4	—	—	—	〃	—	昭和24年度		平成19年4月学生募集停止	
新聞学科	4	—	—	—	〃	—	昭和39年度			
計		300	—	1,200		1.12				
文理学部								東京都世田谷区桜上水三丁目25番40号		
哲学科	4	80	—	320	学士(文学)	1.21	昭和24年度			
史学科	4	130	—	520	〃	1.21	昭和24年度			
国文学科	4	130	—	520	〃	1.24	昭和24年度			
中国語中国文学科	4	80	—	320	〃	1.25	昭和33年度			
英文学科	4	130	—	520	〃	1.23	昭和24年度			
ドイツ文学科	4	80	—	320	〃	1.27	昭和34年度			
社会学科	4	200	—	800	学士(社会学)	1.25	昭和24年度			
教育学科	4	100	—	400	学士(教育学)	1.28	昭和24年度			
体育学科	4	200	—	800	学士(体育学)	1.28	昭和37年度			
心理学科	4	120	—	480	学士(心理学)	1.25	昭和24年度			
地理学科	4	80	—	320	学士(地理学)	1.26	昭和33年度			
地球システム科学科	4	70	—	280	学士(理学)	1.24	昭和36年度			
数学科	4	70	—	280	〃	1.22	昭和33年度			
情報システム解析学科	4	70	—	280	〃	1.26	昭和37年度			
物理学科	4	60	—	240	〃	1.25	昭和33年度			
物理生命システム科学科	4	50	—	200	〃	1.29	平成16年度		平成16年4月開設 (応用物理学科から改組)	
化学科	4	100	—	400	〃	1.24	昭和37年度			
計		1,750	—	7,000		1.24				
経済学部								東京都千代田区三崎町1-3-2		
経済学科	4	750	—	3,100	学士(経済学)	1.19	昭和24年度			
産業経営学科	4	450	—	1,900	〃	1.14	昭和39年度			
金融公共経済学科	4	200	—	400	〃	0.73	平成22年度		平成22年4月開設	
計		1,400	—	5,400		1.02				
第二部								東京都千代田区三崎町1-3-2		
経済学部										
経済学科	4	—	—	400	学士(経済学)	0.86	昭和24年度		平成22年4月学生募集停止	
計		—	—	400		0.86				
商学部								東京都世田谷区砧5-2-1		
商業学科	4	600	—	2,400	学士(商学)	1.14	昭和32年度			
経営学科	4	350	—	1,400	〃	1.18	昭和39年度			
会計学科	4	250	—	1,000	〃	1.17	昭和39年度			
計		1,200	—	4,800		1.16				

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	備考
芸術学部									
写真学科	4	100	—	400	学士(芸術)	1.26	昭和24年度	東京都練馬区旭丘2-42-1	
映画学科	4	140	—	560	〃	1.27	昭和24年度		
美術学科	4	60	—	240	〃	1.17	昭和24年度		
音楽学科	4	90	—	360	〃	1.23	昭和24年度		
文芸学科	4	120	—	480	〃	1.26	昭和24年度		
演劇学科	4	120	—	480	〃	1.24	昭和25年度		
放送学科	4	110	—	440	〃	1.28	昭和35年度		
デザイン学科	4	100	—	400	〃	1.23	平成8年度		
計		840	—	3,360		1.24			
国際関係学部									
国際関係学科	4	—	—	450	学士(国際関係)	—	昭和54年度	静岡県三島市文教町2-31-145	平成23年4月学生募集停止
国際文化学科	4	—	—	450	〃	—	昭和54年度		平成23年4月学生募集停止
国際交流学科	4	—	—	465	〃	—	平成11年度		平成23年4月学生募集停止
国際ビジネス情報学科	4	—	—	620	〃	—	平成11年度		平成23年4月学生募集停止
計		—	—	1,985		—			
理工学部									
土木工学科	4	280	—	1,120	学士(工学)	1.01	昭和24年度	東京都千代田区神田駿河台1-8-14	
社会交通工学科	4	140	—	560	〃	1.07	昭和37年度		
建築学科	4	280	—	1,120	〃	0.99	昭和24年度		
海洋建築工学科	4	140	—	560	〃	0.93	昭和53年度		
機械工学科	4	180	—	720	〃	1.09	昭和24年度		
精密機械工学科	4	140	—	560	〃	1.22	昭和37年度		
航空宇宙工学科	4	120	—	480	〃	1.08	昭和53年度		
電気工学科	4	180	—	720	〃	1.10	昭和24年度		
電子情報工学科	4	120	—	480	〃	1.15	昭和53年度		
物質応用化学科	4	200	—	800	〃	1.12	昭和24年度		
物理学科	4	140	—	560	学士(理学)	1.12	昭和33年度		
数学科	4	100	—	400	〃	1.18	昭和34年度		
計		2,020	—	8,080		1.09			
生産工学部									
機械工学科	4	180	—	770	学士(工学)	1.22	昭和41年度	千葉県習志野市泉町1-2-1	
電気電子工学科	4	160	—	680	〃	1.22	昭和41年度		
土木工学科	4	180	—	770	〃	1.11	昭和41年度		
建築工学科	4	180	—	770	〃	1.24	昭和41年度		
応用分子化学科	4	160	—	680	〃	1.23	昭和41年度		
マネジメント工学科	4	160	—	680	〃	1.23	昭和41年度		
数理情報工学科	4	140	—	530	〃	1.24	昭和41年度		
環境安全工学科	4	120	—	360	〃	1.17			
創生デザイン学科	4	120	—	360	〃	1.17			
計		1,400	—	5,600		1.21		平成21年4月開設 平成21年4月開設	
工学部									
土木工学科	4	150	—	690	学士(工学)	0.74	昭和24年度	福島県郡山市田村町徳定字中河原1	
建築学科	4	180	—	720	〃	1.25	昭和24年度		
機械工学科	4	180	—	720	〃	1.27	昭和24年度		
電気電子工学科	4	180	—	720	〃	1.27	昭和24年度		
生命応用化学科	4	160	—	610	〃	1.11	昭和24年度		
情報工学科	4	180	—	660	〃	1.30	平成5年度		
計		1,030	—	4,120		1.16			

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年 設年度	所在地	備考
医学部									
医学科	6	120	—	720	学士(医学)	0.96	昭和27年度	東京都板橋区大谷口上町30-1	
計		120	—	720		0.96			
歯学部									
歯学科	6	160	—	960	学士(歯学)	0.79	昭和27年度	東京都千代田区神田駿河台1-8-13	
計		160	—	960		0.79			
松戸歯学部									
歯学科	6	160	—	960	学士(歯学)	0.72	昭和51年度	千葉県松戸市栄町西2-870-1	
計		160	—	960		0.72			
生物資源科学部									
植物資源科学科	4	130	—	520	学士(生物資源学)	1.26	平成8年度	神奈川県藤沢市亀井野1866	
生命化学科	4	130	—	520	〃	1.24	平成8年度		
獣医学科	6	120	—	720	学士(獣医学)	1.16	平成8年度		
動物資源科学科	4	130	—	520	学士(生物資源学)	1.20	平成8年度		
食品ビジネス学科	4	130	—	520	〃	1.24	平成8年度		
森林資源科学科	4	130	—	520	〃	1.21	平成8年度		
海洋生物資源科学科	4	130	—	520	〃	1.20	平成8年度		
生物環境工学科	4	130	—	520	〃	1.12	平成8年度		
食品生命学科	4	130	—	520	〃	1.17	平成8年度		
国際地域開発学科	4	130	—	520	〃	1.19	平成8年度		
応用生物科学科	4	120	—	480	〃	1.30	平成8年度		
計		1,410	—	5,880		1.21			
薬学部									
薬学科	6	240	—	1,440	学士(薬学)	1.09	平成18年度	千葉県船橋市習志野台7-7-1	平成18年4月開設
計		240	—	1,440		1.09			
合計(第一部)		13,130	—	55,905					
合計(第二部)		300	—	1,600					
合計(第一部・第二部)		13,430	—	57,505					

大学の名称	日本大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年	設年度	所在地
商経学科	2	150	—	300	短期大学士(商経学)	0.74	昭和25年度		静岡県三島市文教町2-31-145
食物栄養学科	2	120	—	240	短期大学士(栄養学)	0.99	昭和37年度		静岡県三島市文教町2-31-145
建設学科	2	80	—	190	短期大学士(工学)	0.87	昭和25年度		千葉県船橋市習志野台7-24-1
基礎工学科	2	60	—	170	短期大学士(工学)又は(理学)	1.01	昭和25年度		千葉県船橋市習志野台7-24-1
応用化学科	2	40	—	100	短期大学士(工学)	1.09	昭和25年度		千葉県船橋市習志野台7-24-1
生物資源学科	2	150	—	300	短期大学士(生物資源学)	1.13	平成19年度		神奈川県藤沢市亀井野1866
合計		600	—	1,300					

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際関係学部 国際教養学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	青木千賀子 (61)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン ジェンダーと社会 調査統計論 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	安藤栄子 (61)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 英米言語文化研究 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語学 英語音声学 英文法 英語発達史 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 英語X						
専	教授	梅本順子 (55)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン アメリカ文化 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英作文 英語翻訳・通訳法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 Japan StudiesⅡ(日本文学) 英語X						
専	教授	小田切文洋 (60)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 文学 日中比較文化論 漢字文化論 日本語文化研究 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 日本文学史						
専	教授	加藤雅功 (63)	平成23年4月	国際文化論入門 スタディ・スキルズ キャリアデザイン 国際文化論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 国際観光文化論						
専	教授	加藤洋子 (61)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 世界近現代史 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 地域研究(歴史) 地域研究(特別研究Ⅰ)						

専	教授	神山 眞理 (58)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 芸術 芸術表現論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	小代 有希子 (52)	平成23年4月	国際文化論入門 スタディ・スキルズ キャリアデザイン 世界近現代史 国際文化論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 Japan Studies Ⅲ(文化史)						
専	教授	呉 川 (55)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 中国語Ⅰ 中国語Ⅲ 日中比較文化論 中国語文献講読 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 中国語Ⅵ						
専	教授 (学部長)	佐藤 三武朗 (66(高))	平成23年4月	国際文化論入門 スタディ・スキルズ キャリアデザイン 比較文化論 比較文学論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	鈴木 哲 (63)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 日本近現代史 歴史学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 日本史						
専	教授	角田 哲康 (49)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 哲学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅲ スペイン語文献講読 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 スペイン語Ⅴ スペイン語Ⅶ						
専	教授	高橋 章 (60)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 世界の宗教 日米比較文化論 宗教文化 英語文献講読 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	高橋 公雄 (64)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 英米文学史 国際時事問題 英作文 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 地域研究(概論)	専	教授	高橋 公雄 (64)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 国際文化論入門 英米文学史 国際時事問題 英作文 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 地域研究(概論)	
専	教授	高山 茂 (64)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 日本文化 日本社会						

専	教授	田中徳一 (61)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 芸術表現論 比較文学論 ヨーロッパ言語文化研究 ドイツ語文献講読 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	西田司 (62)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 異文化コミュニケーション論 英米言語文化研究 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	濱屋雅軌 (53)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 日本近現代史 歴史学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	平野明彦 (52)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 哲学 倫理学 現代思想 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	宗形賢二 (54)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン アメリカ文化 サブカルチャー論 表象文化論 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 英語Ⅹ						
専	教授	安元隆子 (54)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 文学 日本語文化研究 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 日本語文献講読Ⅰ 日本語文献講読Ⅱ						
専	教授	吉田正紀 (66(高))	平成23年4月	国際文化論入門 スタディ・スキルズ キャリアデザイン 文化人類学 国際人口移動論 エスノグラフィー論 文化人類学理論 親族と婚姻論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文						
専	教授	渡辺武一郎 (44)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 文化人類学 フィールドワーク エスノグラフィー論 文化人類学理論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 Japan StudiesⅠ(宗教・思想) 日本宗教思想						
専	特任教授	北岡和義 (69)	平成24年4月	メディアと社会 国際時事問題	兼任	講師	北岡和義 (69)	平成24年4月	メディアと社会 国際時事問題	

専	特任教授	小林 寛道 (67)	平成25年4月	スポーツ科学							
専	研究所教授	佐藤 マサ子 (65)	平成24年4月	比較文化論	専	研究所教授	佐藤 マサ子 (66)	平成23年4月	文学 比較文化論		
専	研究所教授	原田 真人 (61)	平成25年4月	芸術表現論 <small>Japan Studies Ⅷ(スベシヤルレクチャー)</small>							
専	准教授	Andreas, H. Baumann (54)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅳ 日欧比較文化論 ヨーロッパ文化史 ドイツ語コミュニケーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 ドイツ語Ⅵ							
専	准教授	伊坂 裕子 (50)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 心理学 社会心理学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文							
専	准教授	井上 桂子 (57)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 中国語Ⅱ 中国語Ⅳ 中国文化史 中国語コミュニケーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 地域研究(歴史) 中国語Ⅵ	専	准教授	井上 桂子 (57)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 中国語Ⅱ 中国語Ⅳ 中国文化史 中国語コミュニケーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 地域研究(歴史) 中国語Ⅴ 中国語Ⅶ		
専	准教授	Jason Hollowell (41)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 英語Ⅰ 英語Ⅲ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 英語Ⅵ 英語Ⅷ 英語Ⅸ 英語Ⅹ			後任未定				
専	准教授	高塚 浩由樹 (47)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン フランス語Ⅱ フランス語Ⅳ 日欧比較文化論 ヨーロッパ文化史 フランス語文献講読 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文 フランス語Ⅵ							
専	准教授	永塚 史孝 (47)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 開発教育論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業論文	専	教授					
専	助教	熊野 留理子 (41)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 比較文化論 日米比較文化論 英語文献講読 <small>Japan Studies Ⅷ(スベシヤルレクチャー)</small>							

専	助教	Jason Myrick (37)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 英語Ⅱ 英語Ⅳ インターネット英語 ビジネス英語 英語レクチャーシリーズ 英語Ⅴ 英語Ⅶ 英語Ⅸ 英語Ⅹ	専	助教	Jason Myrick (37)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ インターネット英語 ビジネス英語 英語レクチャーシリーズ 英語Ⅴ 英語Ⅶ 英語Ⅸ 英語Ⅹ
専	助教	眞道 杉 (43)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語文献講読 地域研究(特別研究Ⅰ) ドイツ語Ⅴ ドイツ語Ⅶ	専	助教	眞道 杉 (43)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅲ ドイツ語文献講読 地域研究(特別研究Ⅰ) ドイツ語Ⅴ ドイツ語Ⅶ
専	助教	田中 拓郎 (36)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 世界の言語 現代言語学 日本語教授法 ビジネス日本語 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語Ⅶ	専	助教	田中 拓郎 (36)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン 世界の言語 現代言語学 日本語教授法 ビジネス日本語 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語Ⅶ
専	助教	長嶺 宏作 (34)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン					
専	助教	橋本 由紀子 (38)	平成23年4月	スタディ・スキルズ キャリアデザイン フランス語Ⅰ フランス語Ⅲ ヨーロッパ言語文化研究 フランス語コミュニケーション フランス語Ⅴ フランス語Ⅶ					

<共通>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	井上 健 (62)	平成25年4月	批評理論 地域研究(特別研究Ⅱ) 文化政策論						
兼任	教授	円居 総一 (62)	平成23年4月	経済学						
兼任	教授	大淵 三洋 (53)	平成23年4月	経済学						
兼任	教授	岡本 博之 (68(高))	平成23年4月	経営学						
兼任	教授	黒川 祐次 (66(高))	平成23年4月	国際関係論入門						
兼任	教授	小林 通 (65(高))	平成25年4月	日本経済	兼任	特任教授	小林 通 (65)	平成23年4月	経済学 日本経済	

兼担	教授	今野 守 (62)	平成23年4月	スポーツ科学と健康 スポーツ総合 スポーツと社会 レクリエーション論						
兼担	教授	四之宮 玲子 (54)	平成23年4月	社会学 ジェンダーと社会 社会学概論 社会福祉論						
兼担	教授	白川 良典 (64)	平成23年4月	情報処理 商学						
兼担	教授	杉山 嘉尚 (64)	平成23年4月	日本国憲法 法学						
兼担	教授	千谷 基雄 (65(高))	平成23年4月	情報論	兼担	特任教授	千谷 基雄 (65(高))	平成23年4月	情報論	
兼担	教授	豊川 和治 (64)	平成23年4月	情報処理						
兼担	教授	葉山 明 (55)	平成23年4月	政治学 地域研究(社会)						
兼担	教授	東 和敏 (68(高))	平成23年4月	日本国憲法 法学						
兼担	教授	深見 和男 (63)	平成23年4月	スポーツ科学と健康 スポーツ総合 スポーツ指導論						
兼担	教授	宮川 幸司 (56)	平成24年4月	地域振興論 国際観光経営論 国際観光開発論 国際観光政策	兼任	講師	宮川 幸司 (56)	平成25年4月	地域振興論 国際観光経営論 国際観光開発論 国際観光政策	
兼担	教授	吉本 隆昭 (58)	平成23年4月	国際関係論入門						
					兼担	教授	法 専 充 男 (60)	平成23年4月	経済学 日本経済	
兼担	任期制 教員 (教授)	西 鋭 夫 (69)	平成25年4月	地域研究(概論)	兼担	任期制 教員 (教授)	西 鋭 夫 (69)	平成23年4月	国際関係論入門 政治学 地域研究(概論)	
兼担	研究所 教授	秋 山 孝 允 (66)	平成24年4月	Japan Studies V(経済)						
兼担	准教授	笥 正 治 (48)	平成23年4月	経営学						
兼担	准教授	川 口 智 彦 (50)	平成23年4月	韓国語II 韓国語IV 韓国語文献講読 韓国語VI						
兼担	准教授	鄭 助 燮 (43)	平成23年4月	韓国語I 韓国語III						
兼担	准教授	陳 文 挙 (48)	平成25年4月	地域研究(社会)						
兼担	准教授	福 井 千 鶴 (56)	平成23年4月	スペイン語II スペイン語IV スペイン語コミュニケーション 地域研究(特別研究II) スペイン語VI	兼担	教授				

兼担	准教授	山口 秀 樹 (49)	平成23年4月	情報処理 数理の世界			後任未定			
兼担	准教授	山 田 竜 作 (44)	平成23年4月	政治学 Japan Studies VI(政治)						
兼担	准教授	山 中 康 資 (53)	平成23年4月	情報処理 数理の世界 科学思想史						
兼担	准教授	横 田 貴 之 (39)	平成24年4月	イスラム文化 地域研究(社会) 特定言語初級 特定言語中級 特定言語上級						
兼担	助教	浅 川 道 夫 (50)	平成23年4月	日本近現代史 政治学 日本政治	兼担	准教授	浅 川 道 夫 (50)	平成23年4月	日本近現代史 歴史学 政治学 日本政治	
兼担	助教	安 藤 貴 世 (34)	平成23年4月	国際関係論入門	兼担	助教	安 藤 貴 世 (34)	平成23年4月	国際関係論入門 法学	
兼担	助教	川 副 令 (37)	平成23年4月	国際関係論入門	兼担	助教	川 副 令 (37)	平成23年4月	国際関係論入門 日本国憲法	
兼担	助教	武 井 勲 (34)	平成23年4月	社会学 調査統計論 社会学概論 サブカルチャー論 都市社会学 Japan Studies IV(日本社会) コミュニテイ論	兼担	助教	武 井 勲 (34)	平成23年4月	社会学 ジェンダーと社会 調査統計論 社会学概論 サブカルチャー論 都市社会学 Japan Studies IV(日本社会) コミュニテイ論	
兼担	助教	椿 昌 宏 (43)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語文献講読			後任未定			
兼担	助教	藤 田 結 子 (38)	平成24年4月	メディアと社会 現代社会学理論 カルチュラルスタディーズ			後任未定			
兼任	講師	Allan Evans (42)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 VII 英語 VIII						
兼任	講師	有 賀 祐 子 (53)	平成24年4月	特定言語初級 特定言語中級 特定言語上級						
兼任	講師	石 川 元 康 (40)	平成23年4月	情報処理						
兼任	講師	石 川 嘉 延 (70)	平成25年4月	行政学						
兼任	講師	稲 子 あゆみ (46)	平成24年4月	英作文 英語翻訳・通訳法	兼任	講師	稲 子 あゆみ (46)	平成23年4月	英語 II 英語 IV 英作文 英語翻訳・通訳法	
兼任	講師	江 川 晃 (56)	平成24年4月	文化記号論						
兼任	講師	岡 田 善 明 (59)	平成25年4月	英語翻訳・通訳法	兼任	講師	岡 田 善 明 (59)	平成23年4月	英語 II 英語 IV 英語翻訳・通訳法	

兼任	講師	小原 堯 (69)	平成23年4月	科学思想史						
兼任	講師	嘉味田 清 (62)	平成23年4月	情報処理						
兼任	講師	Garth Brennan (36)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV インターネット英語 ビジネス英語 英語 V 英語 VI						
兼任	講師	金 美 連 (39)	平成24年4月	韓国語コミュニケーション 韓国語 V 韓国語 VII	兼任	講師	金 美 連 (39)	平成23年4月	韓国語 II 韓国語 IV 韓国語コミュニケーション 韓国語 V 韓国語 VII	
兼任	講師	Cary Elcome (64)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV			後任未定			
兼任	講師	Guy-Luc Levesque (55)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV インターネット英語 ビジネス英語 英語レクチャーシリーズ 英語 V 英語 VI						
兼任	講師	Cristiane Evans (32)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 VII 英語 VIII			後任未定			
兼任	講師	上月 裕子 (54)	平成23年4月	芸術						
兼任	講師	小橋 惠津 (61)	平成23年4月	生命の科学						
兼任	講師	齋藤 康輝 (49)	平成24年4月	人権論						
兼任	講師	Sean McCollum (32)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV インターネット英語 ビジネス英語 英語 X						
兼任	講師	内藤 伊都子 (42)	平成24年4月	異文化コミュニケーション論						
兼任	講師	中込 知子 (61)	平成25年4月	英語翻訳・通訳法	兼任	講師	中込 知子 (61)	平成23年4月	英語 I 英語翻訳・通訳法	
兼任	講師	中村 知子 (48)	平成23年4月	情報処理						
兼任	講師	Nathan Ducker (32)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV インターネット英語 ビジネス英語 英語 V 英語 VI 英語 X			後任未定			

兼任	講師	原 沢 伊都夫 (56)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅲ 日本語学	兼任	講師	原 沢 伊都夫 (56)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅲ 日本語学 日本語コミュニケーションⅠ
兼任	講師	深 尾 康 夫 (50)	平成24年4月	特定言語初級 特定言語中級 特定言語上級					
兼任	講師	藤 田 智 子 (34)	平成24年4月	英作文	兼任	講師	藤 田 智 子 (34)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 英作文
兼任	講師	松 永 直 之 (51)	平成23年4月	情報処理					
兼任	講師	村 上 佳代子 (38)	平成23年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本語コミュニケーションⅡ					
兼任	講師	森 本 喜一郎 (57)	平成23年4月	情報処理					
兼任	講師	山 崎 康 人 (68)	平成23年4月	情報論			後任未定		
兼任	講師	山 本 由布子 (35)	平成25年4月	英語翻訳・通訳法	兼任	講師	山 本 由布子 (35)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語翻訳・通訳法
					兼任	講師	青 木 美 都 (47)	平成23年4月	芸術
					兼任	講師	足 立 公 生 (64)	平成23年4月	生命の科学
					兼任	講師	雨 宮 史 卓 (45)	平成23年4月	商学 経営学
					兼任	講師	荒 原 邦 博 (40)	平成23年4月	フランス語Ⅱ フランス語Ⅳ
					兼任	講師	飯 田 敏 彦 (54)	平成23年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅲ
					兼任	講師	今 岡 奈津子 (35)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅲ
					兼任	講師	祝 原 豊 (38)	平成23年4月	スポーツ総合
					兼任	講師	エレナ ボンセ (31)	平成23年4月	スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅳ
					兼任	講師	小 俣 里知子 (70)	平成23年4月	スポーツ総合
					兼任	講師	加 藤 弘 一 (53)	平成23年4月	スポーツ総合
					兼任	講師	カルロス ティンエイラ (36)	平成23年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅲ

					兼任	講師	川口兼夫 (61)	平成23年4月	英語Ⅱ	
					兼任	講師	菊池尚代 (47)	平成23年4月	英語Ⅱ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	岸田健司 (46)	平成23年4月	政治学	
					兼任	講師	キャスリーン・トマリ (57)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	許奕雷 (48)	平成23年4月	政治学	
					兼任	講師	グラントン・マークス (46)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	小林尚美 (50)	平成23年4月	日本語Ⅱ	
					兼任	講師	齋藤慶典 (38)	平成23年4月	心理学	
					兼任	講師	蔡飛 (40)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	佐藤聡彦 (43)	平成23年4月	英語Ⅰ	
					兼任	講師	清水嘉隆 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	シモンズ・マークス (48)	平成23年4月	英語Ⅱ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	白瀬朋仙 (51)	平成23年4月	情報論	
					兼任	講師	申昌鉉 (37)	平成23年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ	
					兼任	講師	杉山康司 (47)	平成23年4月	スポーツ総合	
					兼任	講師	鈴木英之 (56)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	谷川栄子 (54)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	ダニエル・ダンスモア (54)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅲ	
					兼任	講師	東馬宏和 (47)	平成23年4月	経営学	

					兼任	講師	杜 震 (34)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	ドナトコルツ (29)	平成23年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ	
					兼任	講師	富 田 裕一郎 (33)	平成23年4月	スポーツ総合	
					兼任	講師	中 野 偉 夫 (72)	平成23年4月	スポーツ総合	
					兼任	講師	中 元 雅 昭 (29)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	野 上 ニコル (62)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅲ	
					兼任	講師	野 中 雅 代 (65)	平成23年4月	英語Ⅲ	
					兼任	講師	パトリック ハリントン (55)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅲ	
					兼任	講師	藤 元 光 世 (45)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅲ	
					兼任	講師	山 品 みゆき (47)	平成23年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅲ	
					兼任	講師	盧 思 (38)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	
					兼任	講師	林 怡 州 (45)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅲ	
					兼任	講師	C.I.R. マクニコル (73)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	F.A. パーラー (55)	平成23年4月	ジェンダーと社会	
					兼任	講師	J.S. シンデイング (36)	平成23年4月	英語Ⅰ	
					兼任	講師	M.I. チャプマン (64)	平成23年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	
					兼任	講師	R.B. マクマーン (53)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	

- (注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
19	3	0	3	25	5	20	3	0	4	27	3	助手については、採用計画の見直しによる。
(19)	(3)	(0)	(3)	(25)	(5)	[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	[Δ2]	

- (注) ・ 「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<国際関係学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 「教育課程の概要」における授業形態 学部共通科目一専門外国語「講義」（全科目）	① 届出時の記載誤りにより「講義」から「演習」に変更。

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教員8人、事務職員2人体制で委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年4回開催し、教員1人が2回欠席しているが、その他の教員は全回出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの実施方法及び活用方法について ・ 教員間における授業参観について ・ FD講演会について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業評価アンケートの実施 ・ 学生への授業評価アンケート公開 ・ 新任教員の授業参観実施 ・ 学外から講師を招聘して行うFD講演会 ・ FD研修会の参加及び報告 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員に対する授業内容及び実施方法に関するアンケートは、専任非常勤を含め全教員に対して授業をどのように行っているかをアンケートした。 ・ 学生からのアンケート結果を集計した結果を冊子化し、学内で閲覧できるよう設置した。また、データとしても集計し、Web上でも公開した。 ・ 新任教員の専門分野に属する教員に協力していただき、相互に授業参観を実施した。 ・ 学内及び学外で実施している研修会に積極的に参加し、専任教職員会の場で報告している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外から招聘した講師に講演していただき、FDに関する意見交換会を行った。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート結果の公開方法をより詳細のものとし、授業内容の質の確保に役立ててもらおう。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年度は開設年度であり、達成状況に関する総括評価・所見については、これから検証する段階であり言及することは現段階ではできないが、自己点検・評価等において、検証及び評価を行い改善すべき点があれば、補正を行いたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成24年公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年 7月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (未定)

- (注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。